



# 田迎の風

文責：校長 堀川 誠治

## <心を育てる【人権旬間 12/1(月)～12/10(水)】>

田迎小学校では、12月1日(月)～10日(水)を人権旬間と設定し、11月の心かがやけ月間に引き続き、「心の教育」に力を入れてきました。この時期になると、私は二つの詩が頭に浮かびます。

まどみちおさんの「ぞうさん」と、高橋系吾さんの「その一言」です。



「ぞうさん」の詩は、「違いを認め合うことの大切さ」について考えさせられます。

ぞうさん ぞうさん おはながながいのね ぞうよ かあさんも ながいのよ  
ぞうさん ぞうさん だれがすきな の あかね かあさんが すきな のよ

作者のまどみちおさんによると、この詩には、「人間の悲しさと素晴らしさ」の二つの思いが込められているそうです。

ぞうさんは、他の動物と違って鼻がとても長いです。それを見た他の動物たちは、自分と違うものだから、「おかしいな?」、「変だな?」と感じ、「お鼻が長いのね」と指摘します。

このようなことは、学校生活でも起こりえます。走ることが得意な人、音読が得意な人、おしゃべりが好きな人、静かに読書をするのが好きな人、周りにはいろいろな人がいます。人間は一人一人違って当たり前です。しかし、自分と何か違うところを見つけると、変だぞ、おかしいぞと言ったり、意地悪をしたりすることもあります。

しかし、この詩のぞうさんは違います。みんなの指摘を気にしていません。堂々と、「ぞうよ母さんも長いのよ」と答えています。「大好きな母さんと一緒なんだ。いいだろう。」と言っています。

詩を書いたまどみちおさんは、「ぞうにうまれてよかったぞう」という思いを表現したかったそうです。また、みんなが同じではなく、「違うからこそ楽しいし、幸せなんだ」とも言われています。

もう一つの「その一言で」の詩は、「言葉の大切さ」について考えさせられます。

その一言で励まされ その一言で夢を持ち その一言で腹が立ち その一言でがっかりし  
その一言で泣かされる ほんのわずかな一言が 不思議に 大きな力持つ ほんのちょっとの一言で

たった一言で、人の心は傷つきます。でも、たった一言で、人は笑顔になれます。自分がやさしく話しかければ、きっと相手も、やさしく言葉を返してくれます。

そして一番大切なことは、一度口から出した言葉は取り消すことができないということです。「今のなし! もう一回やり直し!」と言っても、一度口から出た言葉は相手に届いています。そして、言葉は目には見えませんが、相手の心には残ります。それが嬉しい言葉や優しい言葉だったら温かい気持ちがずっと残りますが、嫌な言葉や相手を傷つける言葉だったら、もやもやした気持ちがずっと残ります。

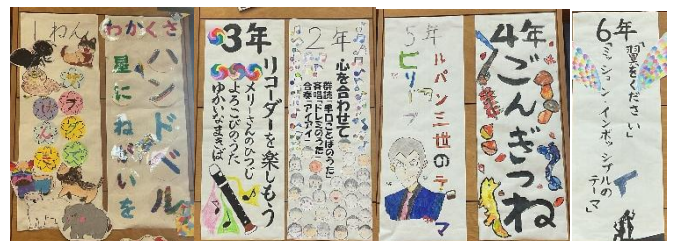
言葉は口から簡単に出すことができますが、とても大切で大事なものです。

田迎小学校の子どもたちも、一つ一つの「言葉」を大切にし、

「他の人とは違う自分を大切にする。」

「自分とは違う他の人を大切にする。」

そんな子どもたちに育ってほしいと思います。



裏面もご覧ください。

## <ともに学ぶ子どもの育成> ~自分と相手を大切に、問い続ける授業を中心とした工夫を通して~

本年度、教育委員会より研究モデル校の指定を受け、上記のテーマのもとで研究を行っています。

基本となるのは、「問い」「対話」「振り返り」という授業の流れです。その流れの中で、子どもたちがじっくりと考えるような「立ち止まる場」を意図的に作り、友達とともに対話をすることで自分自身の考えを更新し、それらをスパイラル的に積み重ね、子どもたちの「学力」の充実につなげたいと考えています。来年2月4日(水)には、モデル校の研究発表も行います。

ところで、「学力」と聞くと、一般的にテストの点数や知識・技能といった「見える学力」が思い浮かぶかもしれませんが。しかし、子どもたちが本当の意味で「学ぶ力」を育てていくためには、数字には表れにくい「見えない学力」も同じくらい大切です。

文部科学省の定義や様々な研究から、「学力」は次の「3つの要素」から捉えることができます。

### 1. 基礎的・基本的な知識・技能(見える学力)

これは、読み・書き・計算をはじめとする、教科書の内容を理解し活用する力です。テストなどで測定されやすい部分でもあります。

### 2. 思考力・判断力・表現力などの活用する力(見える学力+見えない学力)

これは、知識や技能を活用して、考え、伝え、深めていく力です。例えば、「なぜそう思うのか」「どう説明するか」等、子どもたちが自分で考え、他者と関わりながら深めていく場面で問われます。

### 3. 学びに向かう力・人間性(見えない学力)

「なぜ学ぶのか」「学ぶことに楽しさや意味を感じられるか」「失敗しても粘り強く取り組めるか」等、子どもたちの内面の力です。自尊感情や自己肯定感、協働する力、やり抜く力、好奇心などが含まれます。この「見えない学力」は、評価が難しく数値化しにくいですが、実はすべての学びの土台になるものです。「たっちゃんパワー」は、まさにこの力を表しています。

3学期は、1年間のまとめの学期であるとともに、次の学年への準備の学期でもあります。一人一人が「たっちゃんパワー」を意識し、授業や学校行事に主体的に取り組み、友だちとともに学びながら自分の「学力」を高めてほしいと思います。



## <学習発表会&学級懇談会 お世話になりました！>

12月20日(土)に「学習発表会」が行われました。多くの保護者や地域の皆様においでいただき、誠にありがとうございました。子どもたちの発表はいかがだったでしょうか?低学年はかわいらしく、中学年は楽しく、高学年はカッコよく発表を頑張ってくれました。また、学級懇談会では、保護者の皆様からの貴重なご意見や温かいお言葉をいただき、改めて家庭と学校が一体となって子どもたちを支えていく大切さを感じました。ありがとうございました。

12月25日(木)から冬休みに入ります。大きなけがや事故がないように、学校でも子どもたちに話をしますので、ご家庭でも子どもたちの見守りと言葉かけをよろしくお願いいたします。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。

### 学校からのお知らせとお願い

○12月26日(金)~翌1月5日(月)は学校閉庁日となります。この期間中、何かあれば熊本市教育委員会教育政策課(096-328-2704)に連絡をお願いします。

○交通事故防止や不審者対策については、ご家庭でもご指導をよろしくお願いいたします。

○冬休み期間中、大きな事故等ございましたら、関係機関に連絡後、学校にもご連絡ください。

表面もご覧ください。